



# 公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第28号

令和2年7月発行

## 令和元年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会を開催(P.4)



### 令和元年度定期総会・研修会・懇親会中止のお知らせ

例年、7月に定期総会、研修会、懇親会を開催しておりますが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、本年度は集まっての定期総会、会員研修会、懇親会の開催を中止することにいたしました。

### 目次

会長挨拶	2	ゴルフ大会案内	9
令和元年度公認会計士試験合格祝賀会の報告	4	令和元年度定期総会報告	10
「法政士業の会」便り	5	会費等納入の御礼	11
「オール法政新年を祝う会」参加報告	5	校友会終身会員新規登録者(所属変更を含む)	11
令和元年度公認会計士試験合格者の近況	6	年度会費及び寄付金のご協力をお願い	12
雑感	8	編集後記	12
大学院ワークショップにて会員が活躍中	9		

同封物:会報、郵便口座振替用紙

## 会長挨拶

会長 太田 荘一(昭和52年卒)



公認会計士法友会の会員の皆様、各方面でのご活躍、お喜び申し上げます。

会員の皆様には、いつも多大なるご支援とご賛同をいただき、誠にありがとうございます。毎年決まったように貴重な浄財をご寄附いただいている会員、また、総会、祝賀会等の行事には必ずご出席いただいている会員諸氏には、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを更に高めることができているのも、会員の皆様方のご賛同とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめとする役員の方々の精力的な対応とご尽力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。現体制で6年目に入りますが、今後とも引き続き、会員の皆様方のご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

特に、今年度は、新型コロナウイルス感染防止対応のため、会合等の開催は自粛せざるをえない状況にあり、法友会の目的である「会員間の相互親睦を図る」ということでは、対面での交流の機会が少なくなっておりますが、そんな中でも、役員会はWebオンライン会議を利用した役員間でPC画面を通じてコミュニケーションをとっており、また、定期総会のお知らせに対しては、全国の多くの会員諸氏よりメール返答をいただき、ネット上でのコミュニケーションを深めさせていただいております。

今回も、この半年間の法友会活動についてのご報告を中心に、今後の方針や感想を述べさせていただきたいと思います。

#### 【令和元年度公認会計士試験合格祝賀会と合格状況について】

令和2年1月25日(土)に、法政大学における『後進の育成』のための活動として最大のイベントである公認会計士試験合格祝賀会を開催いたしました。法政大学の田中優子総長、佐々木郁夫校友会会長、日本公認会計士協会からは柳澤義一副会長にご臨席いただき、合格者に対してのお祝いと激励の言葉をいただきました。(祝賀会の詳細報告については、後掲の記事ご参照。また、法政大学HPの法政フォトジャーナル2019年度掲載分や校友会HP等の紹介記事をご覧ください。法友会HPから全てアクセスできます。URLは最終ページに掲載してあります)。

合格者の皆さんにはこの感激を忘れずに、また当日ご都合で出席出来なかった合格者には、校友会からのお祝い品が郵送されていると思います。お世話になった先生方、先輩の方々、そして御父母への感謝の気持ちを忘れずに、実社会でご活躍されることを期待しています。そして来年の合格祝賀会には是非、先輩会員として出席してください。

非、先輩会員として出席してください。

ご来賓の皆様方、そして会員の皆様にはお忙しい中をご出席いただきまして本当にありがとうございました。来年度も是非よろしく願ひ致します。

なお、開会の挨拶でも申し上げましたが、法政出身の合格者数(34名)は、全国の出身大学別ランキングが本年度は一橋大学と並んでの第9位ということで、3年ぶりにトップ10に返り咲きました。指導にあられた先生方や高度会計人育成センターの関係者のご尽力と合格者の皆さんの努力の賜物かと思えます。来年度以降もさらに上を目指していただきたいと思います。

#### 令和元年度公認会計士試験 出身大学別合格者数(トップ10)

1位(1) 慶応義塾大学	183 (144)	6位(6) 京都大学	38 (39)
2位(2) 早稲田大学	105 (115)	7位(6) 立命館大学	38 (39)
3位(3) 明治大学	81 (77)	8位(15) 神戸大学	36 (22)
4位(3) 中央大学	71 (77)	9位(8) 一橋大学	34 (37)
5位(5) 東京大学	40 (43)	9位(17) 法政大学	34 (21)

( )は前年度順位及び人数

他大学の人数は日本公認会計士協会提供データを基に当会にて調査

#### 【『法政大学校友会』の終身会員登録の増員への協力と役員参画について】

昨年来、法友会会員の皆様方をお願いしてまいりました「校友会寄付金」につきましては、おかげさまで当初の見込みを大きく上回り、最終的に53名の有志会員の方々からご賛同をいただき、総額94万円の寄付を賜ることができました。ご賛同いただきました皆様方には厚く御礼申し上げます。

今般、これを原資としまして、校友会終身正会員として、新たに25名の方に登録申請をしていただき、今般、一般社団法人法政大学校友会において正式に正会員登録されました。なお、今回、追加登録いただきました会員につきましては、今回の「校友会寄付金」へのご賛同をはじめとして、これまで継続して寄付等をいただいた会員、また、校友会及び公認会計士法友会の諸行事諸活動に積極的に講師等として参画ご協力をいただきました会員の方々を中心に、法友会役員会より個別にお願いさせていただきました。(今回新規登録された方のご氏名を後掲させていただきますので、ご参照ください。)

また、2013年度以降卒業の若手会員(校友会の各年度卒業生同期会会員)におかれましては、パートナー組織(公認会計士法友会へ)の所属変更手続きにご協力をいただきましてありがとうございました。2015年度卒業の若手会員まで含めて現時点で8名の方に所属変更手続対応をいただきました。ご協力いただきました若手会員の皆さんには、厚く感謝申し上げます。(なお、未だ、手続きが済んでいない若手会員諸氏にはおかれましては、速やかに下記の法友会HPにアクセスして、公認会計士法友会への所属変更手続きをお願いいたします。https://www.hoseinet.or.jp/nendo\_doukikai/)

この結果、当会の法政大学校友会終身正会員登録数は、2020年3月末時点で113名となり、念願の100名の大台に乗せることができました。達成目標の120名にあと一歩というところまでできています。公認会計士法友会としましては、今後とも校友会終身正会員の拡大に一層の注力をしていく方針であります。

すので、引き続き会員の皆様のご協力のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人法政大学校友会においては、佐々木会長体制のもと、2019年度に2年毎の代表議員の選出(2019年10月末時点における終身会員数による選出)が行われ、法友会からは小野隆良会員(昭和53年経済卒)と川崎定昭会員(昭和54年経営卒)の2名が選出されました。

また、校友会役員としては、当会の和食克雄顧問が校友会理事(土業の会ブロック担当)として、矢部豊副会長が校友会監事として、長年にわたり校友会活動に貢献してまいりましたが、本年度の校友会役員改選により、新たに当会の石川正敏副会長が校友会理事に、飯塚昇副会長が校友会監事に、それぞれ就任することになりました。和食先輩、矢部先輩におかれましては、長年のご対応、本当にご苦労様でした。

### 【卒業生に対する寄付金の拡充と大学院での実務家ゲスト講師対応について】

さて、ご承知のとおり、法政大学は、今年も志願者数が10万人を超えていますが、この多数の学生を支援するために受け入れる寄付金の総額や割合は、国立大学や一部の著名私立大学に比べるとまだまだ少ない状況であります。大学としても、特に卒業生、OB会を中心とした企業や団体からの寄付の受入れをより一層拡充すべく、全学的に展開する募金(寄付金)事業専門の部局を設置し、校友会等を通じて各OB会や卒業生個人に対して寄付金の拡大支援のお願いをしているところであります。この全学的な募金事業体制の取組においては、金銭による寄付金のみならず、大学に対する一般企業・金融機関、OB団体からの「寄付講座」を積極的に受入れるべく、全学的な受入れ体制を整えているところであります。

公認会計士法友会としては、これまで開講してきました経営学部の寄付講座「実践会社実務論」の実績に基づいて、今年度において、川島先生、福多先生のご担当される大学院の経営学研究科(アカウントティング・ファイナンス専攻)「ワークショップ」の実務家ゲスト講師として、当会より気鋭の会員9名の方々に、実務の最新情報に基づく講義(オンライン授業)をお願いいたしました。(詳細については、後掲の記事ご参照。)全員にご快諾いただき、毎週の授業にご対応いただくとともに、大学院から支給される講師料(3万円)についてはその全額を、今回、法政大学における「新型コロナウイルス感染の影響による家計急変の学生に対する緊急対策奨学金」に寄付することで、講師全員のご賛同をいただきました。法友会としては、これを一旦法友会で受け入れ、法友会として同募金に30万円を寄付させていただきました。今回の実務家ゲスト講師を引き受けていただきました会員の皆様には、精力的なご講義をいただきありがとうございます。また寄付のご協力に対して深く感謝申し上げます。

今後についても、大学及び大学院等からのニーズに応えることで、法友会会員各位の貴重な知識と経験を、学生や大学院生に伝えることにより、後進の育成に貢献したいと考えておりますので、ご支援ご協力のほど、是非ともよろしくお願いいたします。(若手会員諸氏の実務家ゲスト講師を募集しています。)

### 【法友会の会員寄付の拡充と本学受験生への「奨学支援金」について】

私共、法友会としても、今後、特に注力していきたい活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充

していくかという課題に対する対応です。法友会活動は会員の皆様からの会費・寄付金の浄財により成り立っています。昨今、会員の高齢化とご寄付賛助者数の減少により、当会の財政収入にも少なからず影響が出ております。

一方、活動の範囲は拡大しており、特に3年前からの高度会計人育成センター主催の簿記チャンピオン大会成績優秀者に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」(※)については、嬉しいことに、毎年、当該奨学支援金を受給した学生の最終合格率は非常に高いということで、成果が上がっております。(前回、前々回号の紹介記事ご参照。)

法友会としては、これを継続し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(※)毎年度の学内「簿記チャンピオン大会」の成績上位表彰者(1年生)に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に使用を専門学校の受講費充当に限定して、50,000円を支給するもの。

今後も公認会計士を目指す学生の経済的支援のための活動を拡充していくことを検討していきたいと思っておりますので、会員の皆様には、是非ともご理解ご賛同ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 【最後に】

今年度は、8月に予定されていた論文式試験が11月に延期されたことから、最終合格者の発表も年明け以降となり、合格祝賀会も例年とは異なり、来春3月以降の開催となりそうです。

今後も法政の学生からより多くの公認会計士を輩出するために、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

例年、大学監事として、日本武道館(今年は両国国技館の予定でした。)での学位授与式と入学式へ参列しておりますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、いずれも挙行中止となりました。参列者全員での校歌斉唱ができずに残念ですが、来年は是非とも堂々とお祝いしたいと思います。

新入生は、4月以降すべてオンライン遠隔授業とのことで、まだキャンパスに行ったことのない学生もいるようですが、今回はオンラインで、エールを送りたいと思います。

「フー！！フー！！法政、ガンバレ！！ガンバレ！！卒業生と新入生」



法政大学大学院 経営学研究科  
アカウントティング・ファイナンスコース

×

法政大学公認会計士法友会



(ワークショップオンライン授業のスナップ:川島先生より提供)

## 令和元年度公認会計士試験合格祝賀会の報告

事務局

公認会計士法友会主催による『公認会計士試験合格祝賀会』を市ヶ谷キャンパスのボアソナード・タワー26階のスカイホールで開催しました。

今年度の公認会計士試験では、34名が合格し、このうち16名が在学中での合格です。

祝賀会は、田中優子総長をはじめ、日本公認会計士協会の柳澤義一副会長、大学常務理事、監事、後援会、校友会、同窓会及び士業の会の役員、学部長、担当教授などの大学関係者、公認会計士のOB・OG、約140名が出席し、盛大な会となりました。

以下、太田会長、田中総長、柳澤副会長の祝辞を紹介します。



(太田会長) 合格者の皆様、本日は本当におめでとうございます。よくぞ合格してくれました、とOB・OGを代表して、感謝・お礼申し上げます。

皆さんが就職されるであろう大手の監査法人には、皆さんの先輩がパートナーからスタッフまで幅広い階層にたくさんいます。是非、本日以降、皆さんと懇親を深めてもらえればと思います。また、お世話になった先生方、先輩方、そして何より皆さんを支えてくれたご両親への感謝の気持ちを忘れずに、すでに社会に出ている方も多いと思いますが、豊かな会計士人生を送ってもらえればと思います。

この後、総長をはじめ先輩方から、祝辞や中には厳しい激励の言葉もあると思いますが、その言葉を深く心に刻み活躍をしていただきたいと思います。本日は本当におめでとうございます。



(田中総長) 先生方や先輩方の指導、様々な支えがあったことを忘れないでください。そして、今度は、先輩として皆さんがそのような立場に立ち、人を導いていていただきたいと思います。また、合格は到達点ではなく出発点であることを認識してください。私は、皆さん一人一人が現場に出て行った時に、どのような仕事をするのか期待をしています。公認会計士の仕事は幅広く、社会に貢献するもので、とても価値のあるものです。「士」のつく仕事はなくなるという人もいますが、決してなくならない。しかし、仕事の内容は変わります。公認会計士に対する社会の要請が変われば、それに応えていかないとイケません。そのためには、これからも勉強を怠らないといけない。日々新たな気持ちで、新しい社会のことを学びながら、いい仕事をしていていただきたいし、いい社会を作っていていただきたいと思います。合格者の皆さんに、心から敬意を払うとともに、期待をしております。



(柳澤副会長) 仕事に対して焦ることはありません。学生の方がいましたら、大学4年までしっかり勉強し、大学生生活をしっかり過ごしてもらってから仕事に就くようにお願いしたいと思います。これから何十年も仕事はできますし、皆さんは将来の伸びしろをたくさん持っていますので、目の前の仕事にあまり焦る必要はありません。また、特に「士」業で大事なものは人間性、人とのコミュニケーションであり、これらを高めていくための努力が必要です。そのためには、先輩方との付き合いというのもとても大事だと思います。せっかく並み居る先輩方、大学の先生方、いろいろなところで関係を持てるわけですから、普通の学生ではこのような関係はなかなか持てませんので、こういう公認会計士法友会、法政士業の会等にどんどん積極的に顔を出して、いろいろな先生方と

おつきあいをして、教を乞うとか一緒にお酒を飲みに行くとか、そういうところで人間性を磨いていくのが、「士業」としては一番大事なことはないかなと思います。



全員集合の記念写真



法友会による記念品贈呈

## 「法政士業の会」便り

山田 努(昭和59年卒)

**1. 法政士業の会の近況**

緊急事態宣言は解除されたものの新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

4月11日開幕予定であった東京六大学野球春季リーグ戦も、勝ち点方式ではなく1試合総当たり方式に変更して8月12日～20日の間(中止となった全日本大学野球選手権大会の期間)で開催することを模索しているとのことですが、9月19日開幕予定の秋季リーグ戦と合わせてコロナの影響が心配されます。

また、箱根駅伝も今年の正月は15位に終わりシード権を確保できなかったため10月の予選会突破を目指しているところですが、そもそも開催できるのか不安視されます。

このような状況が続く中、法政士業の会も2020年上半期は一度も役員会を開催することができず、ビジネス交流会やお困りごと相談会も今年は中止にしました。

**2. 法政大学中小企業診断士オレンジ会の発足**

2020年2月に法政大学中小企業診断士オレンジ会が設立されました。法政士業の会には当会(公認会計士法友会)、法政法曹会(弁護士)、法政会計人会(税理士)、不動産鑑定士橙法会、行政書士オレンジ会、法政司法書士会が加入していますが、法政大学中小企業診断士オレンジ会は法政士業の会に加入するかどうかを検討中とのことです。

**3. 付属校3年生向け職業紹介ガイダンス**

法政士業の会は会員相互の交流・親睦のみならず、法政大学への貢献を目的としており、法政大学付属校連携室と協議を行い、付属校から法政大学への進学内定者(高校3年生)向けの職業紹介ガイダンスを2018年から実施しています。2020年は弁護士・公認会計士の職業紹介の要請があり、公認会計士の職業紹介については当会の伊藤章子会員と鈴木雄飛会員と私の3名が担当しました。2020年2月20日に法政国際高校に伺い経営学部進学予定者32名・経済学部進学予定者25名(すべて女子)に対し私が職業紹介(他の専門士業紹介を含む)、伊藤さんが女性活躍、鈴木さんがグローバル活躍について講演し、講演後は校長の和仁先生と懇談し、最近の高校教育や専門士業を取り巻く環境について意見交換をしました。



講演中の伊藤会員



講演中の鈴木会員

## 「オール法政新年を祝う会」参加報告

渥美龍彦(昭和58年卒)

2020年1月26日(日)12時より、グランドニッコー東京 台場 パレロワイヤル で、法政大学校友会主催「2020年オール法政新年を祝う会」が開催されました。公認会計士法友会11名のテーブルは司会近くの最前列であり、合計13名の会員が参加しました。

第一部は山中正竹氏による「オリンピックの魅力」と題した特別公演会と法政大学応援団吹奏楽部によるニューイヤーコンサート、第二部はオール法政新年を祝う会、菅義偉内閣官房長官などの来賓のご祝辞の後、鈴木直道北海道知事の乾杯で祝宴に移りました。応援団吹奏楽部演奏があり、「頑張れ！法政スポーツ」として、東京2020オリンピック出場選手・候補選手の紹介、学生スポーツ優勝・実績報告が行われました。

2020年全国卒業生の集い栃木大会の案内後、応援団アトラクション、1,100人の出席者全員で円陣を組み、校歌を斉唱しました。

閉会后、法政士業の会の面々は、司会の木村拓也フジテレビアナウンサーと記念写真を撮って、会場を後にしました。



## 令和元年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

### ●EY新日本有限責任監査法人に入所した3名の方からの近況報告です

入所直後にコロナの世界的な蔓延が生じた中で、新しい働き方に取り組んだ日々が語られています。

#### 伊勢健吾(平成31年卒)

法友会の皆様、いつもお世話になっております。伊勢健吾と申します。私は、令和元年公認会計士試験合格後2月に大手監査法人であるEY新日本有限責任監査法人に入社しました。入社後まず、14日間の研修を受けましたが、プロフェッショナルになるためのマナー研修やEY独自の監査ツールの研修、監査人としてのどのような心構えで日々取り組んでいくなどを学ぶことができました。

研修を終えた次の週には、配属された事業部での研修やWeb研修を受けました。この一か月のおかげでこれからどのような心構えで仕事に向き合うべきかを確認することができ、とてもいいモチベーションで仕事に取り組むことができると思いました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年とはとても異なった状況となってしまいました。研修後の一か月はその影響で業務に携わることができなかつたため研修内容などの復習を主にしていました。

私が、本格的に業務に携わることができるようになったのは4月に入ってからです。ですが、原則在宅での勤務という形になり、初めての監査はとても不安な気持ちでした。ただでさえ忙しい期末監査に加え今回のような異例な状況でも監査チームの方々から丁寧にご指導をいただき、5月末までの約2か月間在宅中心に監査業務を行いました。

そこで私は、これからも日々監査の知識や社会のことについて学んでいかなければいけないと感じました。また、自身が社会を動かす歯車の1つであり、よりよい仕事ができるような努力が必要なのだと再認識することができました。まだこの業界に足を踏み入れたばかりで

未熟者ではありますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



(私は左から4番目です)

#### 坂井祐介(経営学部4年在学中)

法友会の皆様、いつもお世話になっております。経営学部経営学科4年の坂井祐介と申します。私は令和元年に公認会計士試験に合格し、現在はEY新日本有限責任監査法人で非常勤として勤務しております。

公認会計士試験合格から半年以上経ちましたが、ちょうど1年前は必死に勉強していたことを考えると時が過ぎるのがとても早いものだと感じました。受験勉強は大変でしたが、自分を支えてくれた家族と一緒に勉強してきた友人に支えられて合格することができたので、改めて周囲の人達に感謝したいと思います。

今年は、新型コロナウイルスの影響で監査法人では在宅勤務が中心になったり、実務補習所では合宿や授業がなくなったりと例年通りにいかないことばかりでした。監査法人では、慣れないことや知らないことが多く、また在宅勤務が続いたこともあり戸惑うことも多くありました。しかし、一緒に働く先輩の方々や同期の存在のおかげで徐々に慣れていくことができたと思います。ただ、私にはまだまだ足りないものばかりだということも痛感しました。私は今大学4年生で比較的時間に余裕があるので、ただ漠然と過ごすのではなく、来年社会人としていいスタートが切れるように時間を有意義に使っていきたいです。

公認会計士法友会の諸先輩の皆様、今年1月は令和元年公認会計士合格祝賀会にお招きいただき、誠にありがとうございました。公認会計士試験の合格をゴールとせず、日々精進して参りたいと思います。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



(私は左から5番目です)

#### 並木勇太(経営学部4年在学中)

法友会の皆様、合格祝賀会では、私たちの公認会計士としての門出を祝っていただきありがとうございます。経営学部経営戦略学科4年の並木勇太と申します。私は昨年の公認会計士試験に合格し、今年の2月に、EY新日本有限責任監査法人に入社いたしました。現在、大学の勉強と会計士としての仕事に精進しております。

入社して半年が経ちますが、日々新しいことを学び・挑戦し、目まぐるしい毎日を過ごしております。監査法人では、これまでの学校生活とは全く違う環境で緊張したり、何をすべきか悩んだりすることもありましたが、同期や先輩方に恵まれ支えてもらいながら、仕事の楽しさや大変さを深く実感できました。また、会計士試験の勉強に集中していた頃とは違い、旅行に行ったり、友達と食事に行ったりと大学生らしい生活もして楽しい毎日を過ごしています。

受験生時代から、法友会の皆様にお世話になることは多くありましたが、監査の現場でも、法政出身の先輩と同じチームに配属され、お世話になることができました。就職活動でも法政OB・OGの皆様をサポートして頂き、改めて法政大学に入学し、会計士を目指してよかったなと思いました。

### ● 円谷 秀明 (平成31年卒)

法友会の皆様、いつも大変お世話になっております。円谷 秀明と申します。

私は2018年に理工学部応用情報工学科を卒業致しました。その後、2019年に実施された論文式試験に合格し、現在は有限責任あずさ監査法人に勤めております。

私は在学中に公認会計士試験の勉強を始め、合格までに約3年かかりました。この間に大学を卒業していたため、就職せずに専門予備校に通いつつ受験に専念していました。勉強していた期間は受からなかった時のことなどを考えてしまっ、果たして自分の選択は合っているのかと何度も思い詰めてしまっていたこともありました。そのため、う柳澤副会長合格発表の日にインターネットで自分の受験番号を見つけた時は達成感なのか、安堵なのか、人生で初めての感情を抱いたことを鮮明に覚えております。中々理解できない論点の解決にとことん付き合ってくれた予備校の先生方、互いに教えあって切磋琢磨した友人達、そして受験勉強していた期間はあらゆる面で負担を掛けていたのにも関わらず、ネガティブなことを一切言わずに無条件で見守って頂いた両親など、本当にたくさんの方々を支えられていたことを実感した3年間でした。こちらのスペースをお借りして、自分を支えてくださった方々に改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、私が今年の2月に監査法人に入社してから約半年が経ちます。2月末決算、3月末決算のエンゲージメントで会計監査の繁忙期を経験させていただきました。また、今年は新型コロナウイルスの影響で、繁忙期のほとんどをリモートワークで作業を行いました。業務を通じて、監査がとても奥深いこと、クライアントやチーム内のコミュニケーションの難しさを痛感しました。

監査論で勉強したつもりではありましたが、実際に監査業務を行う上では考えなければならないことがとても多く、受験勉強で勉強した内容は本当に基礎的な内容だったことがわかりました。クライアントがどのようなビジネス・取引を行

この半年間は、感染症の世界的流行もあり、日本でも働き方が見直され、仕事に慣れない中、在宅勤務もありましたが、この逆境を乗り越えて一人前の会計士を目指したいと思います。まだまだ未熟ものではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



なっているか、会計処理する上でどのようなリスクがあるのか、そのリスクに対して適切な監査手続を行なっているかなど考えなければならない点がたくさんあり、自身の力不足を痛感しました。これからは監査の経験をもっと積んで行き、監査チームにもクライアントにも貢献できるような人材になりたいと思います。

休日はよく旅行に行ったり、ジムに行ったりしていましたが、最近はコロナの影響もありずっと家にいることが多いです。最初はずっと家にいることに全く慣れませんでした。最近は家にいることが快適になってしまいました。休日は家に積ん読本がたくさんあるので、その本を読んだりしてまったり時間を過ごしています。また、大学生の時にプログラミングの勉強していたので、PythonやSwiftという言語を使ってアプリのコーディングなどをしたりしています。

最後になりますが、先日は公認会計士合格祝賀会にお招きいただき誠にありがとうございました。仕事を始めてからたくさんの先輩方に色々なことを教えていただき、同期とは互いに助け合って繁忙期を乗り切ることができました。そして、業務を通じて監査には会計基準の知識や業界に関する知識など、幅広い理解が必要だということがわかりました。これからも積極的に知識を吸収する姿勢を崩さずに日々精進していきたいと思っております。未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い致します。



## 雑感

春山直輝(昭和62年卒)

皆さんこんにちは。春山直輝と申します。

法友会には以前は合格祝賀会に参加するくらいだったので、いろいろなご縁ができて昨年からは副会長をやらせていただいております。

あずさ監査法人に勤務しております。よろしくお願い致します。

冒頭にも申し上げましたが、私はどちらかというと法政関係の行事に積極的に顔を出す方ではなかったのですが、なぜ急に参加するようになったのかをご説明したいと思います。

まず、最初のきっかけは経営学部同窓会主催の東京六大学野球観戦応援ツアーでした。学生時代は六大学野球を観戦したこともなかったので初めて観る選手達の真剣なプレーもさることながら、応援団と一体になって学生と一緒に熱心に観戦する卒業生の姿にも共感し、もともと野球が好きだったこともあり一気に六大学野球のファンになりました。この後すぐに一人でも球場に足を運んでみましたが、残念ながらどちらも負けてしまいましたので、ぜひ勝ち試合を観るため秋にも神宮へ行こうと思いました。

野球観戦に行くと必然的に法政グッズが欲しくなり、市ヶ谷キャンパスに買いに行ったところ、そこで偶然にも法政一高(現法政大学高校)時代のクラスメイトに再会しました。彼は付属中学出身で今でも当時の仲間と連絡をとっているとのこと、私も連絡先を交換しその日のうちに懐かしい面々とメッセージを交わしました。

春季リーグが終わった後、秋まで待たず、ネットで応援団などの動画を観ていたのですが、「六旗の下に」という六大学合同の応援団の催しが6月にあることを知り、チケットを購入して行ってみました。神奈川県民ホールで行われたのですが、せいぜい2時間位で終わるものと軽い気持ちで行ったところ、すべて観ると5時間余りにも及ぶ長丁場であることを知って非常に驚き、法政が終わったら帰ろうかと思っていたのですが、大学によって応援の仕方も違い色々個性が光り、とても見応えがあり結局最後まで観てしまい、ますます応援団の魅力にはまることとなりました。

同じ6月には卒業以来参加したことのなかった高校主催の同窓会にも思い切って参加してみました。市ヶ谷キャンパスで行われることもあるそうなのですが、この年は高校の校舎で行われました。2007年に移転したため、私はこの日初めて現在の校舎に足を踏み入れました。新しい校舎も同じ吉祥寺周辺なのですが、駅の反対側でとても閑静な印象でした。男子ばかりだった私達の時代と違い共学となりうらやましく思います。ちなみに当時の校舎があった場所は、今はマンションが建ち、まったく別の風景になってしまい寂寥感を覚えます。

秋になると、特別入場証(シーズンチケット)を野球部から購入し、秋季リーグは計5試合を観に行きました。最近の法政はチーム力に優れ、特に昨年の秋季リーグは途中まで負け知らずで、優勝目前で残念にも慶應に敗れたのですが、非常に盛り上がりました。今年こそ!と思った矢先にコロナの影響で今年の春季リーグは開催されず…選手達の気持ちを考えるといたたまれなくなります。

11月には、6月の高校の同窓会で再会した同級生に誘われ

て、ホームカミング・デーという会に参加しました。これもまた高校の校舎で行われ、卒業期5期毎の卒業生の集いなのですが、ここでも更に法政の交友関係が広がりました。在学中はほとんど交流がなかった人達と時を経てまたお互い違った立場で逢って話ができるのはとても貴重なことだと思います。

12月には今度は法政大学応援団単独の「オレンジの集い」にも行きこちらも熱い応援を堪能しました。

年末には市ヶ谷キャンパスで再会した同級生から忘年会のお誘いがあり、出席したところなんと当時の担任だった先生も参加されていて、何十年振りにお逢いすることができ忘れられない日となりました。

このように気付けば昨年は法政三昧の一年となりました。

さて、皆さんは法政一高野球部がかつて甲子園に出場したことがあるのをご存じでしょうか? 1960年(春)、61年(夏)と84年(春夏)、通算4回の出場があります。残念ながら私は83年卒業だったため84年は1年違いで在学中ではなく、甲子園には行かなかったのですが、高校時代の後輩が学校で観戦に行き、私にもお土産を買ってきてくれました。ご存じない方も多いと思いますが毎年甲子園ではグッズとして出場校のペナントを販売しているのです。



後輩が何枚か買ってきてくれましたので、長年大事に保管していました。数年前関与先の社長が法政出身の方でしかもスポーツがお好きだと知り、1枚お譲りしたところ、後日「当時実際に甲子園に応援に行ったことを思い出して非常に懐かしい」とのお礼のメールをいただきました。

84年は残念ながら3回戦で惜しくも延長10回の接戦の末敗退してしまいましたが、今となっては如何に偉業だったかがわかります。もし今後、法政大学高校の甲子園出場が決まったら何をしても応援に駆け付けようと思っております。

法政一高に憧れて勉強し、合格できた喜びはまだ覚えていますが、在学中よりも現在の方が母校愛が強くなっているように感じます。あの頃はクラスメイトや部活の友人だけが仲間だと思っていたのが、卒業して何十年も経ってからは、初めて逢った人とも同じ法政出身だというだけで強い仲間意識を感じます。昨年1年間で多くの法政の仲間達とつながりができました。今後できるだけ多くの人と逢いを作っていきたいと思っております。



## 大学院ワークショップにて会員が活躍

三浦 太 (昭和60年卒)

2020年4月から法政大学大学院 経営学研究科 会計・ファイナンス専攻の中で大学院授業としてワークショップが設けられ、その講義を当会員が引き受けることになりました。第1回は教授陣によるガイダンスでスタートし、第2回から第10回までをすべて当会員が実務家講師(ゲストスピーカー)を務めました。講義内容は表の通りです。

### 2020年大学院ワークショップ授業内容一覧

4月22日(水)	川島教授・福多教授	ガイダンス講義
5月13日(水)	草深文理	M&A
5月20日(水)	伊藤章子	監査とガバナンス
5月27日(水)	森口輝来	企業再生
6月3日(水)	赤岩 茂	経営哲学
6月10日(水)	石川正敏	税務と経営
6月17日(水)	松原恭司郎	SDGsと経営
6月24日(水)	古田土 満	中小企業経営
7月1日(水)	三浦 太	ベンチャー経営とIPO
7月8日(水)	河西正之	ITと経営



ZOOMによる講義の様子

授業は、夜19時から始まり、講義を先ず1時間程度行います。10分の休憩を挟んで質疑応答やディスカッションを講師が大学院生と1時間以上ロングランで行い、21時半前後に終了する本格的なワークショップを毎回繰り広げることができました。ちょうどコロナによる制限された環境の中での開催であったため、すべてZOOMを活用したりリモート授業となりましたが、問題なく双方のやりとりを展開することができました。

今回受講された大学院生は社会人および社会人経験者の方が多く、大半は実務に従事しながらの就学のため、授業に対する真剣度があり、質疑や主張において自分自身の仕事経験を踏まえての発言が多く発せられ、講師も専門家としての経験スキルを活かし真剣勝負で臨み、ディスカッションが大変盛り上がるシーンが毎回幾度となく繰り広げられました。

結果として、大学院生からも好評だったようで、今後も何らかの形で継続する方向で検討を進めることになりました。このように法政大学に貢献することも1つの形として見いだせたことは新たな公認会計士法友会の活動展開といえます。

## ゴルフ大会案内

石川正敏(昭和58年卒)

### 第33回CPA十月会コンペ開催のご案内

昨年、残念ながら雨天中止となった公認会計士大学対抗ゴルフコンペ「十月会」の開催ですが、今年は以下の概要で開催予定です。COVID-19の影響がこれ以上拡大しないことを祈るばかりです。

2015年の十月会で我が校が優勝し、一昨年末まで規定により優勝の権利がありませんでしたが、今年より優勝が狙えます。皆様、是非お誘いあわせの上、ご連絡下さい。

日時: 2020年10月3日(土曜日)

場所: 東松山カントリークラブ(埼玉県東松山市)

交通: 車 関越道東松山インターより約15分(平常時) / 電車 東武東上線森林公園駅から専用クラブバス利用(駅から約10分)

東松山CCは1963年開業、オリンピック開催予定の霞が関CC東コースの改修前設計者の藤田欽哉氏の設計によるもので、現在は拡張され27ホールコースです。

### 第21回法友会ゴルフコンペ開催のご案内

上記、十月会に先立ち、同コースにて「第21回法友会ゴルフコンペ」を9月上旬～中旬頃の平日に計画しております(すいません、東松山CCへの申込&日程はこれから検討です)。初めての方も、皆様お誘いあわせの上、気軽にご参加下さい。小生宛にメールをお送り頂ければ、今後のゴルフ案内を送信します。

### 第18回オール法政ゴルフ大会「総長杯」のご報告

2019年9月2日(月曜日)キングフィールズゴルフクラブ(支配人が法政出身)にて、校友会主催による大コンペがゴルフ場貸切で実行されました。朝から法政大学校歌がゴルフ場に響き渡り、田中総長もゴルフ・懇親会ともにご参加され、盛大に開催されました。法友会からは、和食会長はじめ6名のメンバーが参加して、大いに盛り上がりしました。

### ゴルフ関係のご参加申込、お問い合わせは下記までお願いします。

eメール: ishikawa@aiwa-tax.or.jp / FAX: 03-5715-3318 (あいわ税理士法人 石川正敏宛)

## 令和元年度定期総会報告

事務局より

新型コロナウイルスに関して、緊急事態宣言は解除されたものの、感染者数は一定数発生しており、引き続き「3つの密」を避ける状況であると考えております。そのため、令和元年度の定期総会、研修会、懇親会の開催は見送ることにいたしました。しかし、会則第16条では年1回総会を開催することとしていますし、新年度の活動方針や予算の承認を得ないと活動ができませんので、書面での審議を行うことにいたしました。

令和2年6月24日にメールアドレスを把握している会員に、報告事項、審議事項を記載した書面を開示し、意見を7月1日まで求めました。結果、反対意見は寄せられなかったため、賛成多数とみなしました。

以下に概要を報告いたします。

## 1. 会員数の推移

過去7年間の会員数は以下の通りですが、公認会計士法友会に参加の意思を表示しない・参加しないと意思を表示した人は累計で115名になっています。若手会員の活動をより活性化して周知し、参加を促す必要があります。

H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
667	683	699	720	715	740	762人

## 2. 後進の育成のための高度会計人育成センターとの連携

会報第27号の「令和元年簿記チャンピオン大会開催」の記事をご覧ください。

## 3. 会費納入状況について

多くの会員の皆様から、年会費、年度寄付金のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

(単位: 千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会費・寄付金総額	2,340	2,411	2,306	2,253	2,944
終身会員登録会費	△1,305	—	—	—	△940
差引	1,035	2,411	2,306	2,253	2,004
支出	2,163	2,336	2,043	2,069	1,949
収支差	△1,128	85	263	184	55

校友会の終身会員登録のために、特別に寄付をお願いした影響を除くと、年平均2,000千円の会費等を納入いただいています。しかし、奨学支援金支出の増加、合格者の増加等に対し、会報の発行の見直し、電子配布の検討を行い、通信費や印刷費を抑えたことにより、収支差を均衡させていますが、財政は厳しい状態となっています。会費等については、通常会報の中で納入のお願いをさせていただいておりますが、思うように伸びておりません。

引き続き、より多くの会員の方からの会費の納入と経費削減を合わせて行い、収支差を改善する必要があると考えています。

## 4. 決算・予算概要

## ① 収入の部

会費・寄付金については、校友会の終身会員追加登録10名に向けた積極的な寄付のお願い等を行い、多くの方からご支援をいただきました。その他の要因もあり、予算比で+444千円となりました。

## ② 支出実績

総会・祝賀会開催費用は、合格者が予算作成時の想定より増えたこともあり、予算比で増加しました。また、その他は、会報のPDF配信や会費等を納入していただいた方のみ到会報を郵送することにしたため、予算比で減少しました。

終身会員登録会費は、終身会員追加登録10名を見込んでいましたが、多くの方からご支援をいただいた結果、25名の追加登録を行うことができました。奨学支援金は、本年の支給申請が6名だったことによるものです。

これらの結果、収支差額は245千円のプラスとなり、資金残高は1,641千円となりました。

決算・予算概要(単位: 千円)	R1年度予算	R1年度実績	R2年度予算
会費・寄付金	2,500	2,944	1,970
校友会より	450	540	600
収入合計	2,950	3,484	2,570
総会・祝賀会開催費用	1,560	1,666	1,380
終身会員登録	300	750	210
奨学支援金	400	300	400
その他	687	523	895
支出合計	2,947	3,239	2,885
収支差	3	245	△315
前期繰越	1,396	1,396	1,641
次期繰越	1,399	1,641	1,326



## ③ 予算概要

今年度は定期総会を開催しないこととしたため、定期総会時の参加費収入・関連支出を計上しておりません。

昨年の校友会寄付金の残金を活用して、校友会終身会員登録を若干名行う予定です。

また、新型コロナウイルス緊急対策奨学基金へ寄付するために、有志会員の大学院ワークショップのゲスト講師料相当270千円を講師の皆様から寄付いただき、端額分を加えて300千円を法友会からの寄付として計上しました。

## 会費等納入の御礼

令和元年度に定期総会等に参加いただいた方、会費等を納めていただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

令和元年度の定期総会に出席いただいた方は以下の通りです。

渥美 龍彦	飯塚 昇	石川 正敏	伊藤 章子	太田 荘一	越智 一成	小野 隆良
柿沼 幸二	川崎 定昭	河西 正之	木下 恵嗣	木村 純一	草深 文理	小場 貴之
酒井 宏暢	佐竹 健二	西浦 正和	春山 直輝	牧野 智成	松原 恭司郎	三浦 太
矢田堀 浩明	矢部 豊	山田 努	吉田 実貴人	和食 克雄		

令和元年度の公認会計士試験合格祝賀会・研修会に出席いただいた方は以下の通りです。

青木 春香	渥美 龍彦	有泉 正樹	飯塚 昇	石川 正敏	市川 隼	伊藤 章子
井上 倫哉	宇佐見 浩一	海老澤 弘毅	太田 荘一	太田 眞晴	大野 厚夫	大谷 はるみ
小倉 加奈子	越智 一成	小鳥 夏樹	小野 隆良	柿沼 幸二	川口 宗夫	川崎 定昭
河西 正之	川野 照雄	岸野 勝	木下 恵嗣	木村 純一	桐生 大輔	小山 和憲
近藤 大輔	酒井 宏暢	酒井 雄介	佐竹 健二	佐藤 直	佐藤 廣昭	志村 誠
鈴木 和郎	鈴木 雄飛	瀧本 祐和	武田 知紀	照井 慎平	富樫 健一	中田 昭弘
永田 郷	中村 元紀	西浦 正和	葦澤 政男	花川 泉	春山 直輝	福壽 直樹
藤田 利弘	古田 泰雄	榎 和樹	松岡 翔吾	三浦 太	森口 輝来	安井 洸治
矢田堀 浩明	矢部 豊	山田 努	山本 脩平	和食 克雄		

会費・寄付を頂いた方は以下の通りです。

赤岩 茂	飯塚 昇	五十嵐 正明	石川 正敏	伊藤 章子	井上 倫哉	鵜藤 葉子
梅村 一彦	太田 荘一	太田 眞晴	大野 厚夫	奥 朋	小野 隆良	尾町 雅文
柿沼 幸二	葛西 晋哉	金子 祐大	河合 三彦	河西 正之	北村 敏雄	木下 恵嗣
君和田 和子	草深 文理	倉持 直樹	黒田 學	桑原 正信	神田 忠二郎	古田 土 満
小林 保弘	齊藤 直人	酒井 庄平	酒井 宏暢	佐藤 志郎	篠原 可奈	島田 幸樹
杉本 喜代美	鈴木 和郎	鈴木 一功	鈴木 雄飛	高木 淳	高橋 和司	高村 茂
遠山 景一	豊島 忠夫	中村 里佳	西澤 利雄	橋爪 宏徳	日置 重樹	福壽 直樹
藤田 利弘	藤原 明	前田 大輔	三浦 太	本宮 和馬	森口 輝来	安井 洸治
矢部 豊	山口 祐一郎	山本 成男	吉川 清司	和食 克雄		

## 校友会終身会員新規登録者(所属変更を含む)

令和元年度に下記の25名の方に、新たに校友会終身会員に登録いただきました。(50音順、敬称略)

石出 康子	市川 隼	宇佐見 浩一	葛西 晋哉	川瀬 博之	君和田 和子	小山 和憲
齊藤 直人	酒井 雄介	篠原 可奈	島田 幸樹	志村 誠	鈴木 一功	鈴木 伸佳
鈴木 雄飛	高木 淳	武田 知紀	田中 創	中村 里佳	橋爪 宏徳	日置 重樹
福壽 直樹	福山 正啓	前田 大輔	山本 成男			

また、下記の8名の方は、年度同期会から所属変更を行っていただきました。(50音順、敬称略)

稲垣 大輔	小野 真一	小島 隆文	高松 亮祐	富井 竣介	中村 幸信	新部 敏行
山内 義明						

公認会計士法友会事務局

〒169-0074

東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を  
目指して活動しています。

3月末現在の会員数 762名

ホームページもご覧ください。

<http://hoyukai.la.cococan.jp/>



## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で、集団での会合、懇親会等が中止となっています。法友会も、初となるオンラインでの役員会を開催しました。うまくつながらないなどのトラブルはありましたが、何とか開催にこぎつけ、有意義な議論ができました。また、大学院ワークショップの記事にもありますように、ビデオ会議ツールを利用したオンラインの講義も行いました。法友会活動にまで、IT化の波が押し寄せるとは思っていませんでしたが、この先、どうなっていくのでしょうか。新型コロナウイルス

が、早く収束してもらいたいものです。

「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」へのご支援のお願い」が法政大学のホームページに掲載されています。会長挨拶でも触れておりますが、法政大学のホームページのお知らせ一覧から「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」へのご支援のお願い」をご覧ください。

物故者について

今年度において、下記の会員の方が永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 小林 英、故 村上 唯

## 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大学会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様のご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意をお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円(一口)だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座をお願いいたします。

銀行口座 三菱UFJ銀行 東中野支店(店番152)

普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会

<連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

公認会計士法友会事務局

080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

## Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い

会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウントング専攻)の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思っておりますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。